



認定看護師通信



2020年8月発行
Vol. 30

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で高齢者がフレイル状態に！

全世界で感染拡大が続いている COVID-19 ですが、熊本県内でもクラスターが発生しており、多くの方に影響を及ぼしています。特に、高齢者は COVID-19 に感染すると重症化しやすいと言われています。

そのため、外出を控える方やデイケア、サービスが一時的に閉鎖してしまい自宅にこもる生活を送る高齢者の方が増えています。

自宅に籠る生活で起きることで

「フレイル」がおきます！

(フレイルとは)

加齢とともに心身の活力(運動機能、認知機能等)が低下し、心身の脆弱性が出現した状態

【フレイルの基準】

1. 体重減少
2. 疲れやすい
3. 歩行速度の低下
4. 握力の低下
5. 身体活動量の低下

フレイルの予防

- ◆役割を持たせ自宅でも活動的に
- ◆しっかり食事をとり栄養をつける
- ◆口腔内を清潔に保つ
- ◆家族や近所の方が見守り、1人の状態をつくらない



収束の見通しが立たない状況ですが、感染拡大を予防しながら高齢者の方が安心・安全に日常が遅れるようみなさんと支え合っていきましょう！！

文責:認知症看護認定看護師 宮崎真寿美

ARIAKE Project (血栓回収療法) が始まりました！

ペナンブラを救え！

Arao municipal hospital Recirculation therapy of Ischemic Attack by Embolism

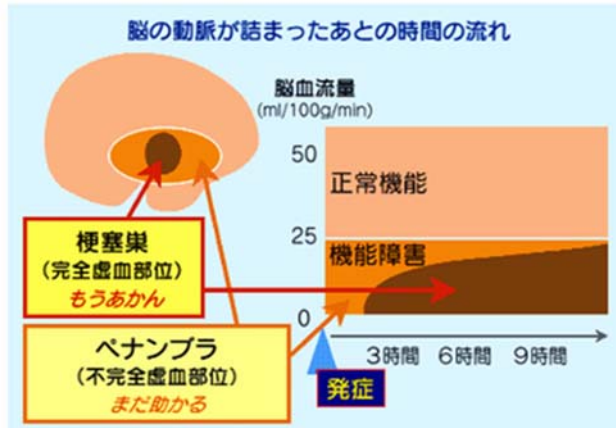


脳梗塞は脳血管が詰まることで、血液が流れなくなり、脳細胞が死んでしまう病気です。脳梗塞治療では1分でも早く血管を再開通させることが、後遺症を少なくするために最も大切です。

当院でも tPA 静脈療法(血流の回復割合 33%)が脳梗塞の標準的な治療でした。tPA 静脈療法は発症から 4.5 時間以内の急性期脳梗塞に行われていましたが、再開通率の低さ、適応時間の短さなどの問題もあり適応患者も限られます。

今回 tPA 静脈療法と血栓回収療法が当院でもできるようになりました。血栓回収療法とは、ステントという細いワイヤーの先端に金属製の小さな網目状の筒が取り付けられた治療機器を使った血栓の回収のことです。

ガイドラインでも「血栓回収療法に伴い閉塞血管の再開通が早く認められるほど、良好な転帰が期待できる。」と言われています。治療を早期に開始するためには、それぞれの部署を超えたチームワークがさらに必要となります。皆様ご協力よろしくお願いします。 文責:寺本 清美



脳血流量が一定レベルより低下すると機能障害が起こります。直ちに不可逆的、つまり元に戻らない梗塞巣になるのではなく、血流が早期に回復すると機能も回復します。血流低下が軽いところほど、また血流低下が短時間であるほど、回復の可能性は高くなります。この回復可能な領域を「ペナンブラ」と呼びます。ペナンブラは梗塞巣周辺部に見られます

